

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルの道	必修 選択の別		開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	吉本 友美	講師 プロフィール	美容師、アイリストを経て札幌ベルエポック美容専門学校の非常勤講師として国家試験科目に携わる。その後、職員として勤務、現在に至る。						

【授業を通じての到達目標】

職業人としての自立を目指しながら将来像を明確にする。  
美容師としての成長、コミュニケーション能力の向上、業界の特別授業を通じて最新の美容を札幌で学ぶ。

【学習内容】

学校のルールを理解する、仲間づくり(チームワーク、教えあう、思いやり)

【使用教科書・教材・参考図書】

社会人基礎力、コミュニケーション検定本

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/20)	【到達目標】 ☆学校仲間作りを出来るようになる ○自己紹介 ○クラス目標・個人目標制作(グループワーク) ○入学式振り返り ※目標設定①	⑧ (6/22)	【到達目標】 ☆美容室を調べ将来のビジョンを考える様になろう② ○就職活動について(東京、札幌) ○サロン見学表作成
② (4/27)	【到達目標】 ☆クラス、仲間作りを出来るようになる ○クラス目標プレゼン ○ポートフォリオ作成OGWの過ごし方 ○クラス委員、副委員、書記を決める(書記はSNS UP) ○クラス会議①	⑩ (6/29)	【到達目標】 ☆国家試験への理解を深めよう、社会人としての基礎を理解し社会に出たときに活かそう ○国家試験を身近に感じる(2年生見学)※異学年交流 ○社会人基礎力①(主体性)
③ (5/11)	【到達目標】 ☆プレゼン力をつけ主体性を身に着ける様になる OGWの思い出プレゼン ○運動会について	⑪ (7/6)	【到達目標】 ☆社会人としての基礎を理解し社会に出たときに活かそう ○社会人基礎力②(行動)
④ (5/18)	【到達目標】 ☆運動会を通じてクラス(チーム)で学び協力する、SSCの理解 ○運動会について OSSC紹介	⑫ (7/13)	【到達目標】 ☆他分野から学び取れる様になろう ○食とのコラボ授業(ダイエット、食とは) ○内面から美しく
⑤ (5/25)	【到達目標】 ☆運動会を通じてクラス(チーム)で学び協力する、選択授業、東京研修でスキルUP ○運動会について ○選択授業、東京研修、CSU検定説明(動機付け)	⑬ (7/20)	【到達目標】 ☆クラス会議を通じて仲間作りが出来る様になる ○夏休みの過ごし方、計画 ○夏休みあけ出欠対抗リレー案内(全校性) ○クラス会議②
⑥ (6/1)	【到達目標】 ☆運動会を通してクラスの仲間との絆を感じよう、地域の人とのコミュを取れるようになろう ○運動会振り返り(プレゼン) ○地域清掃	⑭ (8/24)	【到達目標】 ☆JOINTを理解し将来を明確にする ○夏休み明け個人面談 ○JOINTの理解 ※目標再設定③
⑦ (6/8)	【到達目標】 ☆身近にある性教育の勉強を深めよう ○性教育セミナー(学外での生活習慣) ○性教育セミナー振り返り	⑮ (9/7)	【定期試験】50 ☆社会人基礎力を理解できている、PV作成の理解、振り返り○プレゼン動画(PV) ○社会人基礎力 ○1Sの振り返り、テスト
⑧ (6/15)	【到達目標】 ☆美容室を調べ将来のビジョンを考える様になろう③ ○美容室を知ろう(スマホ検索) ○サロンリサーチ ○就職活動について(自己分析→強み弱み) ※目標設定②	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)	
【履修に当たっての心構え・留意点】		●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

## 講義シラバス

科目名	美容実習(カット&カラー)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	牛戸 協子	講師 プロフィール	札幌ベルエポック開講当時から講師として関わっています。 また、札幌大通で完全予約制の美容室を営業しています。						
【授業を通じての到達目標】									
カット・カラーの基礎知識や技術を身につける									
【学習内容】									
実際にカットしたり、カラーをしながら基本の練習									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具およびカラー道具一式 スピロ102									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19) (4/22)	年間授業の進め方の理解 シザーの開閉の練習				⑨ (6/21) (6/24)	セイルレイヤーのショートカットをしてみよう			
② (4/26) (5/6)	セイルレイヤーのブロッキング・カットを覚えよう				⑩ (6/28) (7/1)	ワンレングスカットを覚えよう			
③ (5/10) (5/13)	ホイルワークを覚えて、ポイントでハイライトを入れてみよう				⑪ (7/5) (7/8)	脱染剤を使用し2回色を抜いてみよう			
④ (5/17) (5/20)	セイルレイヤーのプロを覚えよう				⑫ (7/12) (7/15)	塩基性カラーを使って色で遊んでみよう			
⑤ (5/24) (5/27)	セイルレイヤー全頭をカットできるようになる				⑬ (8/23) (7/22)	未定			
⑥ (5/31) (6/3)	前髪のカット方法を覚えよう				⑭ (8/30) (8/26)	試験のカットの練習			
⑦ (6/7) (6/10)	全頭ブリーチを練習しよう				⑮ (9/2) (9/6)	定期試験			
⑧ (6/14) (6/17)	先週のウィッグを使用しダブルカラーをしてみよう				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

## 講義シラバス

科目名	美容実習(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容学校講師として勤務						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
授業への取り組み方 基礎的技術を学ぶ									
<b>【学習内容】</b>									
準備片付けを効率よく進め上巻き下巻き姿勢の技術習得									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
WD用具一式・ノート・筆記用具・名札									
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/19)	用具の取り扱い、セッティングの仕方を身につける				⑨ (6/21)	フロントのブロッキングスライス、 姿勢、システムを理解し巻けるようになる			
② (4/26)	ウィックの取り扱い、コームの持ち方ブロッキングが取れるようになる				⑩ (6/28)	右BSのスライス、姿勢、システムを理解し スムーズに巻けるようになる			
③ (5/10)	スライス、シェーブ、ゴムの掛け方上巻きを身につける				⑪ (7/5)	右BS、サイド、スライス、シェーブを意識し バランス良く収められている			
④ (5/17)	目線、姿勢、上巻きがスムーズに出来るようになる				⑫ (7/12)	姿勢、スライス、システム、シェーブを意識し バランス良く収める			
⑤ (5/24)	姿勢、下巻き、スライス、システム、				⑬ (7/19)	センターのロッドを真っすぐ収め 右BSをバランス良く収める			
⑥ (5/31)	下巻きがスムーズに巻けるようになる				⑭ (8/23)	ブロッキング 7分 センター・右BS 25分 時間内完成			
⑦ (6/7)	ブロッキング、上巻き、下巻きがスムーズに巻けるようになる				⑮ (9/6)	【定期試験】50 バランス良く収め時間内完成 センター・右BS 25分			
⑧ (6/14)	センターブロッキング4分センターWD13分で巻き終わる				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト50点/定期試験50点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									

講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	飯嶋 美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き27年目を迎える。現在は国家試験科目の筆記を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師として必要な基礎知識を身につけて、一層興味深く学ぶ意欲を育むことを目標とする。

【学習内容】

美容に関する専門用語・道具・名称・技術手順など、教科書を中心にサロンワークと関連づけて解説する。

【使用教科書・教材・参考図書】

美容技術理論①教科書 ・B5判ノート(専用ノート) ・筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書の写真・図の理解を深める。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/20)	美容技術者としての心構え・作業姿勢・人体各部の名称を学び理解する。(なぜ必要な知識か考える)	⑨ (6/22)	②パーマントウェーブ技術の手順を学び理解する。(ワインディングのバリエーションを体験)
② (4/27)	美容用具の名称・選定法・手入れ法・使用目的を学び理解する。(コームの持ち方いろいろ体験)	⑩ (6/29)	①ヘアカラーリング剤の種類と染毛のメカニズム・色の基本を学び理解する。
③ (5/11)	①シャンプーの目的など施術によって使い分ける技術・シャンプー剤の種類を学び理解する。(エアシャンプー姿勢など体験)	⑪ (7/6)	②酸化染毛剤の技術手順とヘアブリーチの違いとポイントを学び理解する。
④ (5/18)	ヘアデザイン(創造力を養う)をお客様に提案できる基礎知識からのプロセスを学び理解する。	⑫ (7/13)	①ヘアセットング/オールウェーブセットングの実技に必要な基礎知識を学び理解する。
⑤ (5/25)	②リンス・コンディショナー・トリートメントの違いや成分、スカルプトリートメント・スカルプマッサージを学び理解する。(ウィックを使用してマッサージを体験)	⑬ (7/20)	②ヘアセットング/ブロードライやバックコーミングに必要な基礎知識を学び理解する。
⑥ (6/1)	①ヘアカットの目的・基礎理論を学び理解する。(スライス線と長さの関係を体験)	⑭ (8/24)	美容技術理論①の重要ポイントの強化、復習を中心に進めて定期試験対策を集中的に行う。
⑦ (6/8)	②ベーシックな4つのヘアスタイルの特徴とカット技法を学び理解する。	⑮ (9/7)	<定期試験>4択問題を中心に行い、読解力を鍛えることを目的とする。
⑧ (6/15)	①毛髪の構造とパーマントウェーブが形成される仕組みを学び理解する。(パーマ剤の種類と特徴)		

【履修に当たっての心構え・留意点】

問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!

【成績評価の方法と基準】

●小テスト50点/定期試験50点  
●評価  
A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)  
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  
●評価方法  
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

## 講義シラバス

科目名	文化論	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S(前期)	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	始関 祐華	講師プロフィール	美術、文化の知識、教員免許を活かし本校で文化論の授業を担当している。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の科目である文化論の内容を知り、計画的に学習を進め理解を深めることができる									
【学習内容】									
文化論の内容を理解し美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
教科書 文化論									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 文化論が国家試験の必須科目であることを理解し、学ぶ姿勢を身に着ける事が出来る。美容の定義、語義について学ぶ。				⑨ (6/23)	【到達目標】 近代 明治・大正・昭和時代の髪型・服装・化粧について特徴を学び、理解する③			
② (4/28)	【到達目標】 日本の理容業・美容業の歴史について、その発生、制度、動向を学び理解する				⑩ (6/30)	【到達目標】 現代Ⅰ (1945～1950年代)の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する①			
③ (5/12)	【到達目標】 古代 縄文・弥生・古墳時代～の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する。化粧の意味するものを知り当時の人々の心情を考える。				⑪ (7/7)	【到達目標】 現代Ⅰ (1945～1950年代)の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する②			
④ (5/19)	【到達目標】 中世・近世Ⅰ 平安末・鎌倉・戦国末・安土桃山時代の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する。				⑫ (7/14)	【到達目標】 現代Ⅱ (1960年代～1970年代)の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する			
⑤ (5/26)	【到達目標】 近世Ⅱ 江戸時代の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する。江戸時代の風俗を知り庶民の豊かな文化の背景を知る。				⑬ (7/21)	【到達目標】 現代Ⅲ (1980年代～1990年代)の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する			
⑥ (6/2)	【到達目標】 近世Ⅱ 江戸時代の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する。				⑭ (8/25)	【到達目標】 現代Ⅳ (1990年代～2010年代)の髪型・服装・化粧について特徴を学び理解する			
⑦ (6/9)	【到達目標】 近代 明治・大正・昭和時代の髪型・風葬・化粧について特徴を学び理解する①				⑮ (9/8)	【定期試験】 日本のファッション文化について特徴を理解しているか			
⑧ (6/16)	近代 明治・大正・昭和時代の髪型・風葬・化粧について特徴を学び理解する②				成績評価の方法と基準 ●小テスト50点、定期試験50点 【成績評価の方法と基準】  ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
遅刻・欠席・忘れ物・学ぶ姿勢									

## 講義シラバス

科目名	保健 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	沖田 史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として保健、衛生管理を担当しています						

**【授業を通じての到達目標】**

美容師は髪や頭皮など人の体に直接触れる仕事なので、人の体の構造や機能について知識が習得できる。

**【学習内容】**

教科書を中心として、人体の構造と機能について解説し、演習問題を行い知識を学習していく。

**【使用教科書・教材・参考図書】**

教科書(保健)、プリント

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/20)	人体各部の名称が理解できる。	⑨ (6/22)	血液の組成、心臓と血管の各部の名称とはたらきが理解できる。
② (4/27)	【到達目標】 頭部、顔部、頸部の体表解剖学について理解できる。	⑩ (6/29)	【到達目標】 血液が心臓、血管を流れる経路、リンパについて理解できる。
③ (5/11)	【到達目標】 骨の種類と構造について理解できる。	⑪ (7/6)	【到達目標】 呼吸運動によるガス交換が行われる仕組みとはたらきが理解できる。
④ (5/18)	【到達目標】 骨格系とそのはたらきが理解できる	⑫ (7/13)	【到達目標】 消化器系のあらまし、消化管の仕組みが理解できる。
⑤ (5/25)	【到達目標】 筋の種類とその特徴、身体運動を行う骨格筋、表情をつくる表情筋について理解できる。	⑬ (7/20)	【到達目標】 消化管のはたらき、消化と物質代謝について理解できる。
⑥ (6/1)	【到達目標】 神経は身体の動きに関係するとともに、体内臓器官のはたらきを調節していることを学ぶ。 中枢神経、末梢神経、体性神経、自律神経が理解できる。	⑭(8/24)	【到達目標】 人体の構造と機能について学習したことを振り返り習得していることが確認できる。
⑦ (6/8)	【到達目標】 感覚器の視覚について各部の名称とはたらきが理解できる。	⑮ (9/7)	【定期試験】50 人体の構造と機能(第1章から8章)の範囲で筆記試験
⑧ (6/15)	【到達目標】 感覚器の聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚について各部の名称とはたらきが理解できる。	【成績評価の方法と基準】	

- 小テスト50点/定期試験50点
- 評価  
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)  
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

●評価方法  
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

教科書を忘れない

## 講義シラバス

科目名	衛生管理	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース	ヘアスタイリスト専攻	学年	1年生		
講師名	岡田 弥生	講師 プロフィール	看護師として20年以上手術室、外科系の病院に勤務。その後フリーランスに転身。病氣、けがの対処など教えられます						
【授業を通じての到達目標】									
美容業に従事する者にとって密接な関係にある衛生管理について内容を十分に理解し、知識を得る。国家試験に向けてポイントを整理することができる。									
【学習内容】									
美容師に必要な公衆衛生、環境衛生の基礎を理解し、授業をととして知識を習得していくことができる。パワーポイント、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教科書・プリント・国家試験過去問題									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 公衆衛生の意義と課題、公衆衛生の歴史について理解する				⑨ (6/22)	【到達目標】 環境衛生の概要について内容、目的と意義環境活動について理解する			
② (4/27)	【到達目標】 理容師・美容師との公衆衛生がなぜ深く関わりを持つようになったのか、保健所と理容業・美容業の関わりについて理解する				⑩ (6/29)	【到達目標】 空気環境について知識を深め理解する			
③ (5/11)	【到達目標】 母子保健、成人、高齢保健について知識を高め理解する				⑪ (7/6)	【到達目標】 衣服・住居の衛生について理解する			
④ (5/18)	【到達目標】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する(パワーポイント、事前配布プリント使用)				⑫ (7/13)	【到達目標】 上下水道と廃棄物について知識を深め理解する			
⑤ (5/25)	【到達目標】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する				⑬ (7/20)	【到達目標】 衛生害虫とネズミ、環境保全について知識を深め理解する。(パワーポイント、実物を見			
⑥ (6/1)	【到達目標】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する。				⑭ ( 8/23)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認し定期テストテストに備える			
⑦ (6/8)	【到達目標】 精神保健について知識を深め理解する				⑮ ( 9/7)	【定期試験】50 衛生管理1編「公衆衛生」、2編「環境衛生」から出題。			
⑧ (6/15)	【到達目標】 1編公衆衛生で得た知識の復習と理解度を測る。選択問題テスト				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト50点/定期試験50点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業内容を理解する。遅刻授業態度の指導									

**講義シラバス**

科目名	運営管理	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S(前期)	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科					学年	1年生		
講師名	石野 紀子	講師プロフィール	市内中学校の教員を経て本校で美容師国家試験対策の筆記科目、通信スクーリング、ヘアスタイル画、デッサン等の授業を担当している。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の科目である運営管理の概要を理解し、問題の意図を読み取り解けるようになる									
【学習内容】									
「経営者の視点」「人という資源 従業員としての視点」「顧客のために」という3つの観点から職業人、美容師として必要な知識、方法を学び将来に結びつける。美容師国家試験の必須科目である事を理解し問題を解けるようにする。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
運営管理の教科書、補足プリント									
回	授業計画				回	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 オリエンテーションを受け国家試験の内容を理解する。運営管理が将来美容師として実際に必要な科目である事を知り、学習の計画を立てる				⑨ (6/23)	【到達目標】 第3編 顧客の為に 第1章 サービスデザイン 第1節～第4節 顧客が求める価値、実態、顧客満足について学び、理解する。			
② (4/28)	【到達目標】 第1編 第1章 経営者の視点 第1節～第3節 経営とは・経営者とは 経営が必要とされる理由について学び理解する				⑩ (6/30)	【到達目標】 第5節～6節 価値の多様性、サービスの範囲について学び理解する。			
③ (5/12)	【到達目標】 第4節～第6節 経営資源と経営計画、戦略、経営戦略が指すものについて学び理解する				⑪ (7/7)	【到達目標】 第2章 マーケティング 第1節～第4節 理容業・美容業のマーケティングの特徴、マーケティングミックス、サービスのシステム化 について			
④ (5/19)	【到達目標】 第2章 理容業・美容業の経営について 第1節～第4節 業界の概要、競争の変化、サービスについて学び、理解する				⑫ (7/14)	【到達目標】 第5節～第7節 マーケティングミックスの要因、サービスのシステム化について学び理解する。			
⑤ (5/26)	【到達目標】 第3章 資金の管理 第1節～第3節 資金管理の重要性、収支と損益、会計の考え方について学び理解する。				⑬ (7/21)	【到達目標】 第3章 サービスにおける人の役割 第1節～第4節 接客について、良い接客のために、接客の実践について学び、理解する。			
⑥ (6/2)	【到達目標】 第4節～第6節 コスト管理、税金の種類と内容、税金の申告について学び、理解する				⑭ (8/25)	【到達目標】 第4節～第10節 接客の実践、トラブルと対応、対策と対処について学び、理解する。			
⑦ (6/9)	【到達目標】 第2編 人という資源 従業員としての視点 第1節～第3節 人が資源とはどういう事か。人の能力を高め、やる気高めるために大切な事を学び理解する				⑮ (9/8)	【定期試験内容】 第1編～第3編の学習内容について理解しているか。			
⑧ (6/16)	【到達目標】 第4節～第6節 給与・待遇・福利厚生 労働者の権利について学び、理解する				【成績評価の方法と基準】				
					小テスト50点、定期試験50点(成績評価の方法と基準)				
					●評価				
					A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)				
					E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法				
					評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
欠席・遅刻、忘れ物・授業態度									



**講義シラバス**

科目名	美容総合 I (シャンプー・サロンワーク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	FITS	講師プロフィール	お客様のなりたいを大切にヘアスタイルを作り、ページュや、ミルクティーなどのカラーが◎絶妙なニュアンスや抜け感を出すヘアスタイルはカットだけでもオシャレに！ 男女問わずにオシャレなスタイルを作るサロン。						
【授業を通じての到達目標】									
『お客様が満足するシャンプー・ブローの実践テクニックの習得と接客を身につける』									
【学習内容】									
お客様が満足するシャンプー・ブローの実践と接客									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
教科書・シラバス・タオル・クロス・ドライヤー・筆記用具・デンマンブラシ									
回	授業計画				回	授業計画			
① (4/16)	<b>【到達目標】</b> ・シャンプーの必要性 ・気持ちのいいシャンプーをするポイント ・シャンプーに入る前の準備、ポイント ・プレリンスの工程説明、デモスト ・タオルターバンの仕方				⑨ (6/25)	<b>【到達目標】</b> ・ツースャンプーの工程説明 ・ワンシャンプーのテストを踏まえた注意点を伝える。			
② (4/23)	<b>【到達目標】</b> ・前回の復習、確認 ・ワンシャンプーの工程の説明、相モデル実習				⑩ (7/2)	<b>【到達目標】</b> ・ツースャンプー 相モデル実践 ・デンマンブラシの使い方			
③ (5/7)	<b>【到達目標】</b> ・ワンシャンプーの工程の説明、相モデル実習 ・相モデルハンドブロー、デモスト 実践				⑪ (7/9)	<b>【到達目標】</b> ・ツースャンプー 相モデル実践 ・ワンレンウィッグをデンマンブラシでブロー実践			
④ (5/14)	<b>【到達目標】</b> ・ワンシャンプー 相モデル ・テストの時に気をつけるポイントの工程説明、実践				⑫ (7/16)	<b>【到達目標】</b> ・ツースャンプー 17分タイム入れ 相モデル実践 ・デンマンブラシブロー			
⑤ (5/21)	<b>【到達目標】</b> ・ワンシャンプー 相モデル ・マッサージの工程説明、デモスト、実践				⑬ (8/27)	<b>【到達目標】</b> ・ツースャンプー 17分タイム入れ 相モデル実践 ・デンマンブラシブロー			
⑥ (5/28)	<b>【到達目標】</b> ・ワンシャンプー 相モデル 15分 ・タイム測定 ・ワンシャンプーのクオリティをチェック ・ハンドドライのポイント説明、実践				⑭ (9/3)	<b>【到達目標】</b> ・ツースャンプー 17分タイム入れ 相モデル実践 ・相モデルハンドブロー実践			
⑦ (6/11)	<b>【到達目標】</b> ・前期中間チェックに向けての工程チェック、再確認 ・タイム測定				⑮ (9/10)	<b>【評価項目とフィードバック】</b> ・ツースャンプー17分 ・チェック項目に基づき採点			
⑧ (6/18)	<b>【到達目標】</b> ・ご案内～ワンシャンプー 15分 ・チェック項目に基づき採点				●小テスト50点、定期試験50点 計100点満点 (★マークは小テストとして5点の配点とする) (忘れ物をした場合1つにつき1点ずつ減点とする)  ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。									